

令和2年度学校自己評価システムシート (県立大宮武蔵野高等学校)

目指す学校像	1 高い目標を持ち、自らの夢を実現できる生徒の育成 2 社会で活躍できる生徒を育て、地域が誇れる学校
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりの学力の向上を目指した授業改善の取組 2 第一志望実現に向けた系統的な進路指導の確立 3 基本的生活習慣の確立とマナーアップ、生徒の自主的活動の一層の充実 4 地域に信頼され、地域に貢献できる生徒の育成
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標			年 度 評 価 (1 月 2 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	【現状】 ・学習習慣のない生徒が多い。 ・基本的な問題や義務教育内容が十分定着していない生徒がいる。 【課題】 ・考える力が身に付いていない生徒が多く、自ら考え進んで学習する習慣を定着させる必要がある。	生徒の学習意欲の向上と授業改善に向けた取組	①授業公開週間を活用し、各教科で授業改善のための意見交換を行う。 ②生徒アンケートを実施し、学習状況を把握し、LHRや生徒面談等で指導する。 ③各種検定や英語合宿等に積極的に参加させるとともに、補習や検定試験の充実に向けた支援を行う。	①各教科における授業改善に係る取組状況。 ②アンケートによる生徒の授業認識における前年度比。欠点保持者数の減少。 ③補習授業や各種検定試験等の受験状況と成果。	①授業公開週間は1回の実施となったが、期間を2週間とし、様々な授業を参観できるように促した。 ②生徒アンケート R2.12 (生徒の授業認識) ・分かりやすさ 68%→81% ・授業への集中度 71%→83% ②欠点保持者数(1・2学期)は前年比で約28%減少した。 ③各種検定試験受験者数は前年比で約20%増加した。	A
2	【現状】 ・進学が約86%、就職が約5%。進学希望者が増加傾向にある。 【課題】 ・進学では学校推薦・AO入試が主流で一般受験は少数である。また進路未定者が約8%おり、特に女子の比率が高い。	明確な進路意識を持たせ、それぞれの志望分野に応じたきめ細やかな進路指導の実践	①進路面談や三者面談を通して、進路希望実現のための具体的な行動を促す。 ②進路資料室、「進路のしおり」を積極的に活用し、進路意識を高める。 ③3年間を見通し、進路ガイダンスや講演会など進路行事の内容をより充実させる。	①生徒の進路実現状況。 ②アンケートによる生徒の進路指導における充実度2ポイント増。 ③生徒の進路意識の変容や取組状況。	①コロナ禍ではあったが、Google Classroomを活用し、オンラインでの面談や進路相談を行った。学年と進路指導部が緊密に情報交換を行った結果、12月現在88%の進路が決定している。 ②生徒アンケート R2.12 (進路指導) ・進学補習等の指導の充実 66%→86% ・進路指導の充実 77%→90% ③1・2年もコロナ禍であったが、進路講演会や外部講師によるガイダンスの実施により、各自が進路意識を高めることができた。	B
3	【現状】 ・継続的な交通指導を行っているが登下校中のマナーに対する苦情や交通事故が数件起っている。 【課題】 ・生徒一人ひとりに社会人として必要なスキルを身に付けさせる。 ・年間を通して遅刻数が多い。	基本的生活習慣のさらなる確立 規範意識のさらなる向上とマナーアップ	①深い生徒理解に基づき、挨拶や言葉遣い、マナーに対する組織的な指導を行う。 ②定期的な頭髪服装指導を徹底する。遅刻指導の継続により遅刻数減少を図る。 ③交通安全指導に継続的に取り組み、登下校時のマナーアップを推進する。	①生徒指導案件発生数の前年度比20%減。 ②頭髪服装指導対象者数の状況。遅刻数の前年度比。 ③交通事故発生件数の前年度比。アンケートによる生徒のマナー意識。	①生徒指導案件(12月まで)は前年比で約55%減少した。しかし指導案件のうち、SNSトラブルが全体の半数を占めている。 ②定期的・継続的な遅刻、服装頭髪指導により指導対象生徒は減少している。遅刻数(9~12月)は前年比で約27%減少した。1年生は例年の半数である。 ③交通事故発生件数(～12月)は4件(前年5件)。 ③生徒アンケート R2.12 (生徒指導) ・学校外でのマナー意識 67%→79%	B
3	【現状】 ・生徒が積極的に委員会活動に参加するようになった。 ・学校祭やスポーツ大会など、分校との交流が深まっている。 【課題】 ・部活動参加者(加入率)の増加。 ・学校行事の一層の活性化。	生徒の自主的活動のさらなる充実	①特別活動部と部活動推進委員会の連携を強化し、次年度も見据えた活動を促す。 ②分掌と各委員会との連携を強化し、委員会の活性化を図る。生徒会本部役員への支援を行い、生徒会の企画を充実させる。 ③教員や生徒同士の交流機会を増やし、分校との連携を深め交流行事の充実を図る。	①部活動加入率の状況。部活動体験会実施状況。 ②アンケートによる生徒の学校行事における充実度2ポイント増。 ③交流事業における生徒会同士の連携とその成果。	①部活動加入率は年度当初72.9%(前年比1.1%減)。今年度の部活動体験会は中止した。 ②多くの学校行事が中止になるなか、委員会活動の機会は少なかったが、生徒会本部役員の活動は、学校説明会なども含め積極的に行った。 ③スポーツ大会や分校交流事業は、予定通り実施。互いの生徒同士が楽しんで交流事業や行事に参加し、活躍している。	B
4	【現状】 ・HP等の情報発信や地域との交流を継続的に実施している。 【課題】 ・学校情報の提供方法などを全教員で共有し、効果的な広報活動を行う。	教育活動における情報発信の充実 地域貢献を通し、信頼される学校づくりの推進	①HPの更新等による情報発信の活性化を図る。 ②学校説明会・中学校訪問等の工夫及び改善を行い、生徒募集につなげる。 ③地域行事への生徒及び教職員の参加による地域への貢献、協力を実践する。	①HPの掲載・更新状況。 ②学校説明会等参加者数や実施状況。 ③地域行事や交流事業の参加回数を増やす。	①学校案内を刷新し、本校の魅力をより発信できるようにした。またHPをリニューアルし情報発信を積極的に行った。 ②学校説明会の初回を8月に前倒し、計5回実施した。コロナ対策や説明会の内容整理を進め、より中学生・保護者のニーズに合うよう改善を行った。その結果、参加人数も昨年を上回った。 ③ほとんどの地域行事が中止となり活動の場面がなかった。今後も地域との関わりは深めていきたい。	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 (意見集約)	令和3年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組ませる指導等、学習意欲の向上について具体的な姿を共有して取り組む点も必要ではないか。 ・生徒アンケートの集計結果は、各項目の数値が上昇している。生徒の努力、教職員の取組の成果であると思う。やはり数値として「伸び」を実感するのは嬉しいことである。 ・具体的方策が生徒アンケート結果や実績につながっている。今後も引き続き、生徒一人ひとりに寄り添った支援を期待している。 ・オンラインによる面談や進路相談は評価できる取組である。今後もこの方向での充実を期待したい。 ・進路については「不透明な時代」だと痛感している。進路指導、職業選択は我々もアンテナを高くして取り組んでいく必要がある。 ・入学時から明確な生徒自身の将来を考える進路指導が望まれる。また進路によってどういう勉強が必要かも大切である。 ・SNSについては、SNS等に触れさせないのではなく、どうすれば賢く使いこなせるかを考えるよう指導することが必要ではないか。 ・目に見える問題行動は少なくなっているものの、SNSなど匿名性があるものや発信した後に影響が大きくなってしまふものへの意識が世間全体も含めて悪い方向に向かっていると云わざるを得ない。大きな課題である。 ・基本的には生活習慣は、先ず家庭からと思うが、始めは挨拶からが基本である。部活動加入を促進し、他校との交流も必要である。 ・休校等、学校生活が制限されたために、かえって行事を含めた学校生活を希求する気持ちが高まったのではないか。アンケートで本校生としての意識に高まりが見られる点など、その影響が感じられる。 ・学校行事、宿泊行事など、多くの生徒の活動ができなくなっている。学校として、大人としては、変わりになるもの、新しくできるもの等を検討し、生徒の意欲の低下を防ぎたいところである。 ・今年度、地域や家庭が学校に来ることができない状況だったので、HPを中心に情報発信することはとても効果的だと感じた。今後は活用の機会拡大も視野にいれ、更なる充実に努めてほしい。学校行事や学校説明会をオンラインで行うことも検討するのはどうか。 ・学校行事等が近隣の地域では把握できないので、通学路(建設埼玉事務所付近)に高校の情報掲示板を設け発信するのはどうか。 	